

ゆめ わらわ 夢 立 莖

菅波 茂

今日9日、一般財団法人「国際医療貢献プラットフォーム」の設立祝賀会が北区のANAクラウンプラザホテル岡山で開かれ、各界から2000人余が参加した。

代表理事は佐野俊二カレ、各界から2000人余が参加した。

財団の目的は「世界の命を守る仕組み」への関与である。具体的には「平均寿命世界トップクラスの日本モデルを世界に啓蒙、普及するために、産官学金連携に基づいて志の高い個人および団体が集い、情報の共有と連携をする機会を提供する場」である。2002年の石井正弘・元岡山県知事（現参議院議員）時代に制定された「県国際貢献活動推進条例」に基づいて過去4回開催さ

られた「国際医療貢献プラットフォーム」での討議を具現化するために設立された。

国際医療貢献プラットフォーム財団



国際医療貢献プラットフォームの設立祝賀会
＝北区のANAクラウンプラザホテル岡山で

理事、徳川家広・徳川宗家19代目、永井良三・自治医科大学長、吉岡洋介 師会長・顧問の紹介で始

まった。引き続き祝辞をいただいた。伊原木隆太知事のメッセージを宮地俊副知事が代読した。県内選出の多くの国会議員や首長、教育関係者からも届いた。中島基善ナカシマホールディングス社長の音頭で乾杯。続いて、なごやかな歓談の後に、千葉喬三・元岡山大学長のあいさつで閉会となった。

海外から既に多くの要望が寄せられている。具現化できるか否かは未定であるが、紹介したい。①ネパールに日本式医療の国立医科大学と付属病院の建設②ミンダナオ州立大学医学部付属病院の建設と人材育成③日本の医療機器の販売に不可欠な臨床工学技士の養成学校設立④日本で腹腔鏡手術臨床研修をした後の設備購入費用のローン設定

⑤日本での医学博士課程取得後の支援体制構築⑥ベトナムの病院の国際医療センター構想で日本人医療スタッフの派遣と重症患者の日本の医療機関での治療⑦妊産婦10万人のうち1700人が死亡していることとされるアフガニスタンで日本式の産婦人科病院の建設⑧災害時の人道支援――など。

永井自治医科大学長による「内を固めて外に貢献する」という講話をよく理解して、「世界の命を守る仕組み」に、当プラットフォームに参加された高い志と実行力のある個人及び団体の方々と一緒に、日本が作り上げてきた具体的な事例と英知をもって積極的に関与したい。

皆様のご理解とご支援がいただければ望外の喜びである。(AMDAGグループ代表)